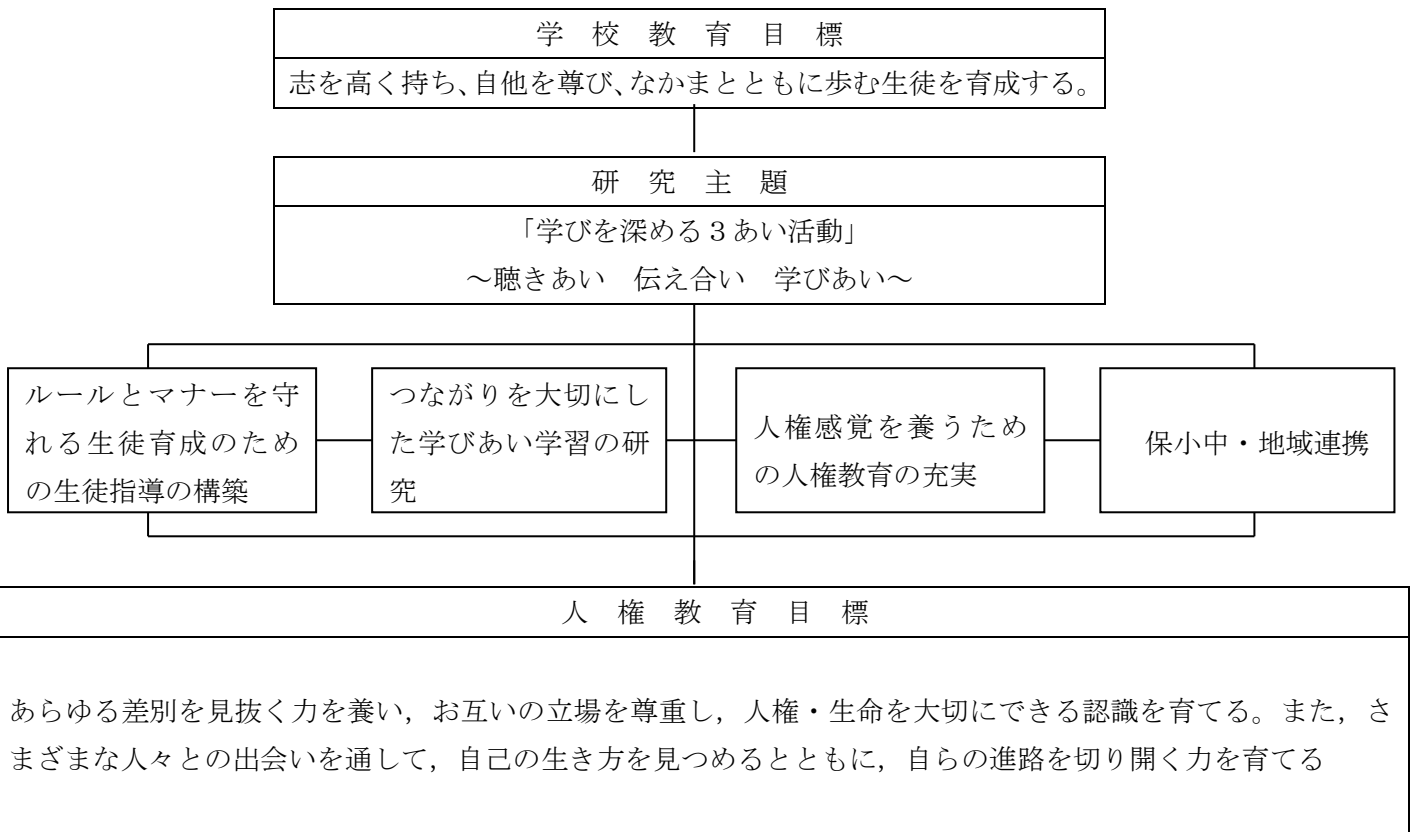


人権教育 全体構想図

人権教育主任



人 権 教 育 基 本 課 題
<p style="text-align: center;">「学力・進路保障を確かなものにする人権教育の推進」</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権教育の教育内容の創造に努め、部落問題を軸とした差別問題に対する科学的認識を育てる ○学級集団を基盤とした、全校一丸となった進路保障への取組等において、「差別を許さない集団」づくりを推進する ○差別を見抜き、その解消に向けて取組むことにより、人権に関する正しい認識を育てる
重 点 指 導 内 容
<ol style="list-style-type: none"> (1) 人権を尊重し、同和問題をはじめ、あらゆる差別を見抜く力を養い、差別を「しない」「させない」「ゆるさない」集団づくりを進める。 (2) 本校の「伝統と継承」をキーワードに、教科書無償運動と紫雲丸遭難事故からの学びを教訓とし、教育に取り組み。また、「生命（いのち）の教育」を教育の要として自他を尊重する姿勢を身につけさせるとともに、防災教育等にも人権的な視点を持って取り組む。 (3) 「人権教育は、生徒の心をはぐくむ教育である」ととらえ、道徳教育との関連性を考慮しつつ、特別活動および道徳の時間を要として計画的に取り組む。 (4) 保育園・小学校と連携して15年間を見通した計画的、系統的な人権教育を行うとともに、教育活動全体を通して生徒の人権感覚を養う。 (5) 生徒の学校生活をしっかりと見取することはもちろん、あったかアンケート等の活用を通して、生徒一人ひとりの内面や背景を理解するように努めるとともに、常にPDCAサイクルを意識して課題を明確にした取り組みを進めて、全員の学力・進路保障をめざす。

柱	内 容	備考・資料
1. 人権学習	<ul style="list-style-type: none"> ・同和問題を根底においた人権学習 ・女性, 子ども, 高齢者, 障がいのある人, 外国人, 感染症患者等に関する問題 ・教科書無償運動 ・特別支援学級理解 ・インターネットによる人権問題 ・言葉と表現 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画に基づいた取組や人権参観日 ・教科書配布時に全校一斉に学習 ・日常における言葉遣いへの指導
2. 集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生活集団づくり 暴言や暴力を「しない」「させない」「ゆるさない」集団 生徒会活動の充実 要求活動の組織化 ・学習集団づくり 基礎学力の定着と学力保障 「聴く」「話す」「かかわる」を大切にした「学びあう授業」の研究 ・進路学習・進路指導 ・子ども会活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・班活動や学級活動の充実 ・専門委員会活動の活性化 ・全校絆タイム（縦割り活動）の充実 ・授業研究を中心とした校内研修の充実 ・情報収集と実践 ・地域でのリーダー育成
3. 生命を尊重する教育	<ul style="list-style-type: none"> ・防災学習 ・紫雲丸遭難事故についての学習 ・平和学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間での取組, 防災フェア, 校区一斉津波避難訓練 ・語り部学習, 展示室の活用, 追悼式, 月命日の献花 ・総合的な学習の時間, 修学旅行

人 権 教 育 学 年 目 標 等

1 年	2 年	3 年
<ul style="list-style-type: none"> ・自分自身を見つめなおしたり, なかまとともに認め合ったりするなかで自尊感情を育てる ・身の回りの差別や不合理を見抜き, なかまと協力して解決していく力を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な出会いを通して, 自分と地域・社会とのかかわりに気づかせ, 今できることを考えさせ, 人権尊重の精神に満ちた社会を創造するためにできることを考えさせる ・公正で公平な社会形成に向けての人権獲得の歴史に学び, 人や社会に対する科学的認識を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の一員として, なかまとともに進路を切り開いていく力を育てる ・様々な差別の現実に対する正しい理解を深め, 自分の問題として人権課題を解決していく意欲と態度を育てる

<p><身近な生活や問題と向き合う></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な問題に気づき，解決する方法について考える ・障害のある人と出会い，生き方に学ぶ ・被差別の立場を生き抜いてきた人々から学ぶ 	<p><気づきを大切に></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な立場の人やその生きざまと出会うことにより，世の中の不合理に向き合う ・過去の戦争に学び，平和について考える ・被差別の立場を生き抜いてきた人々から学ぶ ・勤労の尊さを学び，就職差別の不合理に気づく 	<p><未来に向かって></p> <ul style="list-style-type: none"> ・解放運動の歩みと成果を学習し，人権課題と向き合い解決しようとする意識を育てる ・将来出会うかもしれない結婚差別等の人権問題について，正しく認識し，自らの問題として考える ・未来に向かって，保護者の思いやなかまの進路や夢，悩みなどを知り，共有する
--	--	--

--	--	--	--

夕映え子ども会への支援，研修職員会，保育園・小学校・家庭・地域・関係機関との連携等

--	--	--	--

各教科，道徳，特別活動，総合的な学習の時間等の授業をはじめ，学校の教育活動全体を通じて行われる人権教育の充実，深化

学校生活等における人権教育の視点（例）
朝の挨拶・・・友達の体調を気にかけて、良好な人間関係を意識する。
出席確認・・・欠席理由を気にかけて、欠席者や学級に貢献できることを考える。 友だちが登校できることに喜びを感じる。
授業・・・互いの特性に配慮しながら、集団として学ぶことを実感している。 人権課題に対する知識理解を深める。
班活動・・・班長が班員に対して配慮する。班長のコーディネートに協力する。 意見を出しづらい班員に配慮する。
掃除・・・自分から汚れ（問題）に向き合う。自分の行動できれいになること（解決）を実感する。 特定の児童生徒にしんどい役を固定しない。
家庭訪問・・・家族が抱えている社会的不合理や悩みを確認する。 子どもの成長に関わる不合理、悩みや希望を確認する。

Let's feel じんけん～気づきから行動へ～

平成 30 年度改訂版より

【学年別年間指導計画】

第1学年

11月	<p>部落史学習（同和問題学習）</p> <p>中世に生きた人々（道）</p>	<p>部落差別の起こりについて、中世の賤民の様子と当時の差別意識がどのようなものであったかを理解するとともに、賤民が生み出した文化の価値に気づき、自らの生き方を考える。</p>	<p>資料あり</p>
-----	---	--	-------------

第2学年

11月	<p>部落史学習</p> <p>解放令（道）</p> <p>水平社（道）</p>	<p>「解放令」が出された時の部落の人々の喜びと部落外の人々の反応を知ることにより、本当に差別をなくすためにどのような施策が必要かを考える。</p> <p>「水平社」が設立された経緯や、水平社にこめられた願いや思いを知る。</p>	<p>指導案・資料（一式あり）</p>
-----	--	---	---------------------

第3学年

11月	<p>結婚差別について知る（道）</p> <p>就職差別について知る（道）</p>	<p>現代に残された同和問題を自らの課題として捉え、解決に向けて話し合い、実践しようとする態度を身に付ける。</p> <p>「社用紙」の内容をもとに、その問題点や差別性に気づき、働く権利を保障する公正な選考の在り方について考える。</p>	<p>資料あり</p> <p>資料「社用紙（身上調査票）」</p>
-----	---	---	-----------------------------------